

第5章 保健福祉部

第1節 福祉総務課

〔総括概要〕

福祉総務課の主な分掌事務は、地域福祉計画に関すること、栃木市社会福祉協議会に関すること、民生委員・児童委員に関すること、更生保護業務の支援に関すること、災害時要支援者に関すること、災害見舞金等に関すること、日本赤十字社に関すること、社会福祉法人の定款認可等に関すること、社会福祉事業の経営に係る指導監督に関すること、指定障害福祉サービス事業者及び指定障害者支援施設の指定等に関すること等である。

地域福祉係では、令和2年10月に、福祉ニーズや地域情勢の変化による新たな課題に対応する「第2期栃木市地域福祉計画・地域福祉活動計画」を栃木市社会福祉協議会と策定した。

また、令和3年1月には、「共生社会」の実現につなげるべく、誰もが安心して暮らすことのできるまち「自立更生の夢を育むあったかまち」の実現を目指して、栃木県内では初の個別計画となる「栃木市再犯防止推進計画」を策定した。

検査指導係では、平成25年度から社会福祉法人の定款認可及び指導監査事務等を行っており、栃木県知事から市長への事務処理特例制度の活用による社会福祉事業の経営に係る指導監督等の事務を行うとともに、障がい福祉サービス事業者の指定、保育所の認可及び業務検査指導等の事務への取組など、社会福祉事業の適正な運営に資するよう努めた。

また、国において社会福祉法人指導監査実施要綱が制定されたことにより、市内社会福祉法人に対し指導監査ガイドラインによる全国統一基準の指導監査を実施した。

地域福祉係

1 社会福祉施策推進委員会の開催

社会福祉施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、栃木市社会福祉施策推進委員会を開催し、「栃木市障がい福祉プラン」、「第7期高齢者保健福祉・介護保険事業計画」、「栃木市子どもの貧困対策推進計画」の進捗について検討を行うとともに、「第2期栃木市地域福祉計画・地域福祉活動計画」「第6期栃木市障がい福祉計画及び第2期障がい児福祉計画」「第8期栃木市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」「栃木市再犯防止推進計画」の策定に伴う協議を行った。

会議名	実施日	内 容
-----	-----	-----

委員会	6月26日(金)	・ 栃木市障がい福祉プランの進捗状況について ・ 第7期栃木市高齢者保健福祉・介護保険事業計画の進捗状況について ・ 第6期栃木市障がい福祉計画及び第2期障がい児福祉計画の策定について ・ 第8期栃木市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定について ・ 第2期栃木市地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定について ・ 日中サービス支援型共同生活援助施設の整備について
高齢者福祉 専門部会	11月11日(水)	・ 第8期栃木市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(案)について
委員会	11月20日(金)	・ 栃木市子どもの貧困対策推進計画の進捗状況について ・ 栃木市第6期障がい福祉計画及び第2期障がい児福祉計画(案)について ・ 第8期栃木市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(案)について ・ 栃木市再犯防止推進計画(案)について
障がい者福祉 専門部会	11月20日(金)	・ 栃木市第6期障がい福祉計画及び第2期障がい児福祉計画(案)について
委員会	12月25日(金)	・ 正副委員長の互選について ・ 専門部会について ・ 第8期栃木市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(案)について ・ 栃木市第6期障がい福祉計画及び第2期障がい児福祉計画(案)について

2 地域福祉計画の推進

平成26年度に策定した「栃木市地域福祉計画」の推進のため、栃木市地域福祉計画推進懇談会を開催した。

実施日	内 容
9月30日(水)	・ 地域福祉計画・地域福祉活動計画の評価について

3 障がい者就労支援

栃木特別支援学校の生徒に対し、卒業後の就労に向けての訓練に協力するため、11回の職業体験を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため全て中止とな

った。

4 身体障がい者福祉関係

障がい者の体力増進を図るため、次の事業を実施予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。

(1) 体力回復トレーニング

・日程 9月6日（日）

(2) 障がい者軽スポーツ大会

・日程 3月7日（日）

5 民生委員・児童委員関係

市内17協議会による栃木市民生委員児童委員協議会連合会の事務局として、各協議会相互の連絡調整、情報の共有、委員の資質向上のための研修会開催等の支援を行った。

なお、栃木地域においては民生委員・児童委員193人（12区の協議会）が、関係機関と連携協力のもと各種調査相談等を行った。そのうち主任児童委員24人は、特に児童福祉に関する活動を専門的に行った。

(1) 相談・指導状況

（単位：件）

地域福祉・在宅福祉	家族関係	住居	保健・医療・健康	仕事	生活費
190	32	12	70	10	88
年金・保険	非行・養護・健全育成	生活環境	その他	計	委員1人当たり件数
15	28	88	258	1,091	5.6

(2) 調査等状況

（単位：件）

調査	証明事務	施設団体公的機関との連絡	諸会合・行事への参加	友愛訪問・安否確認のための訪問	計	委員1人当たり件数
3,181	79	2,470	10,331	28,690	44,751	231.8

6 日本赤十字事業

人道・博愛の精神を基調として、社会福祉増進のため募金及び災害救護を実施した。

(1) 赤十字活動資金(社資)募集実績額

地域	目標額(円)	実績額(円)	達成率(%)
栃木	-	7,074,222	-
大平	-	2,829,559	-
藤岡	-	1,475,536	-
都賀	-	1,181,104	-
西方	-	636,652	-
岩舟	-	1,746,006	-
合計	17,458,000	14,943,079	85.6

(2) 災害による救援品配布状況

ア 火災による救援品配布状況

地域	世帯数(世帯)	家族数(人)	毛 布(枚)	布 団(組)	緊急セット(個)
栃木	3	9	9	9	3
大平	1	1	1	1	1
藤岡	2	7	6	6	2
都賀	-	-	-	-	-
西方	-	-	-	-	-
岩舟	-	-	-	-	-
合計	6	17	16	16	6

(3) 講習会等

- ・健康生活支援講習 1回
- ・救急法講習 5回

7 災害弔慰見舞金支給状況

(1) 火災等による災害見舞金支給状況 (単位：件)

全焼	半焼	部分焼	全壊	半壊	部分損壊	入院	火災死亡
10	1	5	-	-	-	-	2

(2) 令和元年東日本台風による災害弔慰見舞金支給状況

- ・栃木市災害見舞金支給の特例に関する条例に基づく見舞金支給件数 (単位：件)

	全壊、半壊 床上浸水	床下浸水	負傷	死亡
令和元年度	4,292	3,207	3	1
令和2年度	61	22	-	-
合計	4,353	3,229	3	1

- ・栃木市災害見舞金支給の特例に関する条例に基づく見舞金額 (単位：円)

	全壊、半壊 床上浸水	床下浸水	負傷
令和元年度	406,750,000	31,315,000	300,000
令和2年度	5,550,000	215,000	-
合計	412,300,000	31,530,000	300,000

8 地域福祉センター

(1) ふるさとふれあい館

ア 利用状況

- ・年度別利用者数

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
区分			

利用者数 (人)	18,808	18,602	11,287
-------------	--------	--------	--------

- ・開館日数 266日
- ・1日平均入場者数 42.4人
- ・月別内訳

区分 月別	研修室	和室	ボランティア ルーム①	ボランティア ルーム②	陶芸室	木工室	学習室	ロビー・ 応接室等	合計	開館日数 (日)
4	74	20	26	23	28	3	54	473	701	17
5	11	5	26	34	6	5	28	252	367	14
6	274	154	64	63	69	22	161	163	970	28
7	352	272	74	46	71	19	133	236	1,203	27
8	357	234	77	112	58	16	138	220	1,212	28
9	415	262	74	129	60	13	124	212	1,289	26
10	397	259	70	102	90	12	130	245	1,305	29
11	392	240	79	95	74	26	129	159	1,194	26
12	470	245	49	107	31	17	127	199	1,245	26
1	107	58	27	29	0	55	62	125	463	10
2	38	20	18	42	0	3	0	36	157	6
3	607	148	53	71	2	18	153	129	1,181	29
合計	3,494	1,917	637	853	489	209	1,239	2,449	11,287	266

イ 事業実施状況（指定管理者による自主事業）

ふるさとふれあい館のロビーや通路の壁側に、毎月、利用団体の作品の展示を行い、文化活動の活性化を図っている。

また、回遊式庭園のため、市民が気軽に来園し散策等出来るように、ベンチの設置やレジャーシート貸し出しを実施した。

更に以下のとおり自主事業を計画・実施した。

(ア) 伝統文化体験

日本伝統文化や施設の魅力を感じてもらうために、利用団体を講師にして陶芸教室を計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

(イ) 学習支援

自宅で落ち着いて学習が出来ない、家庭の事情で塾に行けない生徒に対し学習支援を実施した。

- ・開催回数 29回
- ・延べ人数 309人/年

(ウ) 夏休みボランティアスクール

夏休みに小学生を対象に点字や手話体験・アイマスク体験・高齢者疑似体験などを計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

(エ) ふれあい健康福祉まつり

ふるさとふれあい館利用者の作品展示及び発表、点字体験、福祉体験、模擬店などを実施することで、ふるさとふれあい館や福祉についてのPRを計画していたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止とした。

(オ) エコキャップ回収運動

ペットボトルキャップの収益金を世界の子供達のためのワクチン購入のために寄付するエコキャップ回収運動を実施した。

(カ) 高齢者サロンの開催

高齢者の集いの場として定期的なサロンを計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

(2) あいあいプラザ

- ・年度別利用者数

年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度
区分	利用者数			
	大人	1,317人	845人	374人
	子ども	5,569人	2,210人	1,306人
計		6,886人	3,055人	1,680人
開館日数		280日	297日	250日
日平均利用者数		24.6人	10.3人	6.7人

検査指導係

1 社会福祉法人等の認可及び届出の延べ件数

(1) 社会福祉法人

(単位：件)

	設立認可	定款変更	その他	合計
社会福祉法人	-	7	2	9

(2) 障がい福祉サービス事業所

(単位：件)

	指定	指定更新	変更届	休止・廃止届	合計
障がい福祉サービス事業所	9	11	138	3	161

(3) 保育所等

(単位：件)

	設置認可 開始届	変更届	休止・ 廃止届	合計
保育所	-	4	1	5
小規模保育事業	-	-	-	-
一時預かり事業	-	2	-	2
放課後児童健全育成事業	9	5	4	18
認可外保育施設	-	3	2	5
児童館	-	1	-	1

2 検査指導（実地・集合）業務の実施延件数

(単位：件)

種 別		指導監査 対象件数	指導監査 実施件数
社会福祉法人		23	7
社会福祉施設等		533	111
高齢	地域密着型介護サービス事業(介護予防サービス事業含む)	60	9
	居宅介護支援事業	52	4
	介護予防支援事業	8	0
	第1号事業	124	0
障がい	障がい福祉サービス事業	133	29
	地域活動支援センター	4	1
児童	保育所	16	16
	一時預かり事業	10	10
	特定教育・保育施設	34	18
	小規模保育事業	4	1
	特定地域型保育事業	4	1
	放課後児童健全育成事業	61	5
	児童館	6	0
	認可外保育施設（認定こども園併設含む）	17	17